

ヤマト、「客貨混載」共同輸送でグリーン物流特別賞

Edited By LogisticsToday On 2018/12/12

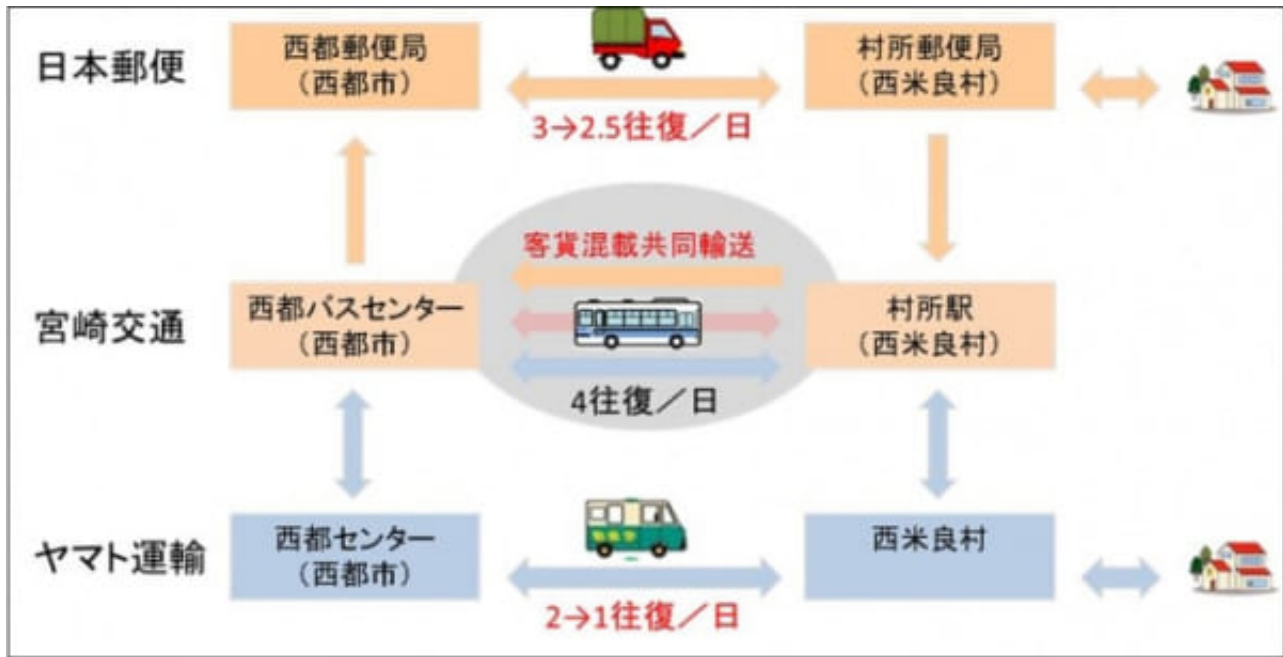
ヤマト運輸は12日、日本郵便、宮崎交通（宮崎市）と連携して開始した、路線バスを活用した「客貨混載」の共同輸送の取り組みが、「2018年度グリーン物流パートナーシップ優良事業者表彰」で特別賞を受賞したと発表した。



▲（左から）宮崎交通常務取締役・川端史敏氏、グリーン物流パートナーシップ事業推進委員長・杉山雅洋氏、日本郵便九州支社長・高手義彦氏、ヤマト運輸執行役員九州支社長・片山博樹氏

宮崎交通とヤマトは2015年10月1日から西都市-西米良村で路線バスを活用した「客貨混載」を実施しており、これまでヤマトが輸送していた2往復のうち1往復について、路線バスで荷物を運んでいた。日本郵便は、西都郵便局（西都市）-村所郵便局（西米良村）を1日3往復していたが、18年2月20日から村所郵便局で引き受けた荷物を西都バスセンター（西都市）まで輸送する片道1運行について「客貨混載」に参画し、「客貨混載」の共同輸送が開始された。

この取り組みにより運転時間が大幅に削減し、両社合わせて年間24.3トンのCO2排出量の削減を実現した。



Article printed from Logistics Today | 国内最大の物流ニュースサイト : <http://www.logi-today.com>
 URL to article : <http://www.logi-today.com/332781>
 Copyright © 2019 Logistics Today | 国内最大の物流ニュースサイト. All rights reserved.